

第4次横手市生涯学習推進計画の施策に対する令和7年度の評価結果

<3段階評価> 具体的施策に対し、内容が A = 合致している B = 合致しているが内容が足りない C = 合致していない

施策展開	主な取り組み	具体的施策	R4	R5	R6	R7	R8	評価委員会での評価・意見等
1 生涯学習の振興	(1)市民の学習意欲に幅広く応え、より満足度の高い学習機会の提供に努めるとともに、参加しやすい学習環境を整えます。	①様々な機関と連携し、「いつでも」「どこでも」「だれでも」「なんでも」学べる環境を提供します。	A	A	A	A		・充実した内容であり、目的達成度も非常に高い。 ・新規事業もあり「なんでも学べる」が形になっている。 ・事業名が住民の意欲を引き出せる工夫がされている地域があり、活性化に繋がると感じた。 ・目標が達成できた事業が多い。また、新事業を展開し集客に努めている。 ・各実施主体によって多くの事業が行われており、市民の要望に応えている。 ・持続可能な事業にしていくために、スクラップアンドビルドの観点も考慮すべき。 ・事業を企画・立案する職員、関係人材のワークライフバランスにも配慮してほしい。 ・各地域でバラツキがあるものの新規の事業もあり充実していると考える。
		②学びの情報を発信します。	B	B	B	A		・事業を実施したり計画の推進を図るためには、情報の発信は必要不可欠。具体的施策の項目から外した方がいいのでは。 ・市民の年齢層に合った発信の多様化が必要。 ・地区交流センター報はわかりやすい内容で発信されており、活動状況なども知る機会が増えている。 ・様々な媒体を通じての情報発信に工夫が見られる。市民にとって利用しやすい情報発信を常に研究して欲しい。 ・様々なツールを使い情報発信に努めている点で評価できる。受ける側にとって分かりやすい内容にするなど、引き続き工夫してほしい。
	(2)学校・家庭・地域の連携により様々な体験活動や交流事業、家庭教育支援などを実施し、地域で子どもを育てる体制づくりに努めます。	①体験活動や交流事業を推進します。	A	A	A	A		・コミュニティスクールを充実発展させてほしい。 ・世代間交流事業をもっとできないか。 ・今後も子ども達に参加できる事業に地域と連携しながら継続して取り組んでほしい。 ・様々な体験、交流活動を展開している。 ・コミスク、ジュニアリーダー等学校と関わる取り組みについては丁寧な意志疎通に努めてほしい。 ・各地域における世代間交流や小中高生の学びをとおした交流事業は充実していると考える。更に趣向を凝らした事業実施を期待する。
		②家庭教育を支援します。	A	B	B	B		・二次元コードを使った募集方法に注目。若い世代が参加しやすい良いアイデアだと思う。 ・少子化ではあるが地域での支援事業も行ってほしい。 ・少子化により地区交流センターでの開催は困難である。 ・家庭教育に不安を持つ保護者は潜在的に多いと思われ、今後も丁寧な取り組みが必要と思われる。 ・生涯学習の基礎となる家庭教育において、親子の共同学習の機会が提供されてること、父母が参加しやすいよう休日に実施していることも合わせて評価できる。
	(3)学習の成果を地域活動への参画や社会貢献に活かす環境づくりに努めます。	①学びのサイクル(循環)を推進します。	A	B	B	A		・いずれの事業も予定参加人数を上回る実績である。この成果を今後活かすため、指導者（活動の中心となる人材）の支援を検討して欲しい。 ・市民活動に対する支援や成果発表機会の提供など評価できる。 ・学びのサイクルは、生涯学習を推進していく上で大切な視点である。指導者育成につながるように事業を工夫してほしい。

第4次横手市生涯学習推進計画の施策に対する令和7年度の評価結果

<3段階評価> 具体的施策に対し、内容が A = 合致している B = 合致しているが内容が足りない C = 合致していない

施策展開	主な取り組み	具体的施策	R4	R5	R6	R7	R8	評価委員会での評価・意見等
2 社会教育の推進	(1) 各種社会教育関係団体の活動を支援します。	① 関係機関・施設・団体等との連携づくりを進めます。	B	B	B	B		・事業数が増えるといいと思う。 ・どんな団体とのつながりがあるのか、団体名が記載されるといい。 ・限られた実施主体のみの実績となっている。改めて連携の必要性を検討し、そのうえで情報収集に努めてほしい。 ・関係団体との協働に向けた取り組みは評価できる。
		② 団体活動の充実を目指す。	A	A	A	A		・高齢者の出迎えなど住民への細かな配慮が見られた。 ・団体活動充実のために、具体的にどのような支援が効果的か、ニーズを探してほしい。 ・関係機関等との連携は重要であり実績を評価するとともに更なる充実を期待したい。
		③ 地域との連携づくりを進めます。	A	A	A	A		・各地域の特性があると思われるが、実績に地域の偏りが見られる。 ・各地域の取り組みは評価できる。少子高齢化による人口減少の中、地域との連携は重要課題と考えるが、更なる充実を期待したい。
	(2) 公民館等施設について、引き続き市民協働によるまちづくり活動と連携した地区交流センター事業における活動を支援します。	① 公民館等施設を拠点とした地域の活性化を図ります。	A	A	A	A		・充実した内容である。 ・新規事業も多く、現代のニーズに合った事業も充実している。 ・各地区交流センターでは新規事業や様々な事業を展開し地域の活性化が図られている。 ・各実施主体によって多様な事業が展開されている。今後も地域のニーズに対応して取り組んでほしい。 ・健康づくりや環境美化など、地域の特色を活かした様々な活動が実施されていることで、世代を超えた交流が生きがいを生み、元気な地域づくりにつながるのと思う。
		② 人づくりによる、まちづくりを進めます。	A	A	A	A		・市民の心と知識が豊かになる事業が展開されている。 ・事業を通して地域づくりに尽力している。 ・各実施主体が熱心に事業を進めている。学校などへの参加要請をする場合は行事予定等の丁寧な聞き取りが必要と考える。 ・防災講話後の「よこて安心安全メール」登録の呼びかけは良いアイデアだと思う。 ・地域の歴史や自然などを活かした学びなど、多種多様な学習機会の充実が図られ、地域課題の解決に向けた取り組みは評価できる。
3 芸術文化の振興	(1) 芸術文化に親しむ活動を推進するとともに、市民が主体的に行う芸術文化活動を支援し、成果発表の機会と場の提供に努めます。	① 芸術文化活動を支援します。	A	A	A	A		・芸術文化を身近に体験できる事業があり良いと思う。 ・各地区の芸術文化活動は地域の活力として重要だと思う。 ・芸術文化イベントは市民が参加しやすい仕組み作りをし、継続してほしい。 ・市民会館の休館予定、代替施設の紹介などについて、丁寧な情報発信をしてほしい。 ・石坂洋次郎を知ってもらうためにAo-na常設展や市立図書館での巡回展は良いアイデアである。学校図書館や横手駅の展示計画も積極的に進めてほしい。 ・芸術鑑賞の対象を広げたことは、芸術の普及のみならず、世代間交流の場として意義があり評価したい。芸術文化団体の高齢化という課題解決は難しいと思うが、その活動は構成する会員の生きがいであり、活動支援や成果発表の機会を設けることは生涯学習として大きな意義があると思う。
		② 市民会館の機能・サービスの充実に向け検討します。	A	A	A	-		・新市民会館へ期待する。
		③ 伝統文化の継承と芸術文化資源の活用を図ります。	A	A	A	A		・高齢化・担い手不足が深刻。 ・横手の多様な芸術と文化が事業内容になっていて充実している。 ・地域の伝統文化の継承を今後も取り組んでほしい。 ・伝統文化継承を積極的に支援していることに敬意を表する、人材育成、若い世代の積極的参加について、今後もアイデアを出してほしい。 ・課題もあるようだが、各地域の伝統文化や遺跡などを学び、保存・継承する活動を評価したい。また、漫画・原画の保存が問題視されているが、「まんが美術館」を活かした漫画文化にふれる事業も評価できる。